糸瀬山·小秀山山行報告

【山域】糸瀬山は中央アルプス前衛(木曽側) 小秀山は阿寺山地(御岳山の南方) 【コース】

○糸瀬山:糸瀬山登山口→丸屋の鳥屋→青ナギ→糸瀬山→往路を下山→糸瀬山登山口

○小秀山:乙女渓谷キャンプ場→二ノ谷→小秀山→山の谷→乙女高原キャンプ場

【日時】○H28年9月24日(土)糸瀬山

○H28年9月25日(日)小秀山

【天候】○9月24日(土)曇り時々ガス

○9月25日(日)曇り時々晴れ

【参加者】CL 柘植秀樹 SL 鈴木憲二 鈴木愛子(糸瀬山の記録)加藤洋子(小秀山の記録) 【山行タイム】

- ○9/23(金) 千葉 19:30⇒中央道 伊那 IC→道の駅日義木曽駒高原の休憩室で仮眠 25 時
- ○9/24(土) 道の駅 日義木曽駒高原 5:30→コンビニで朝食→糸瀬山登山口 6:50 出発→胸突き八丁
 →丸屋の鳥屋 7:50→まむし坂→山居の鳥屋→青ナギ→しらび平→糸瀬山頂上 9:45→
 のろし岩 9:50 着 10:20 発→往路を辿り、糸瀬山登山口着 13:05→日帰り温泉「フォレスパ木曽」→道の駅 加子母の近隣の「ふれあいの館」でテント泊
- ○9/25 (日)「ふれあいの館」テン場 5:00→乙女キャンプ場 5:25→夫婦滝→二ノ谷三の谷分岐→ 兜岩→第一高原→第二高原→小秀山頂上 10:45 着 11:10 発→二ノ谷三の谷分岐→ 造林小屋→乙女高原キャンプ場 14:45 着⇒日帰り温泉⇒中津川 IC⇒中央道⇒帰葉

【報告】

○9/24(土)糸瀬山(1867m)

予定では一日目に小秀山、二日目に糸瀬山を登る予定であった。しかし、都内が自然渋滞と事故渋滞で 小秀山近くの仮眠場所に着くのが遅くなりそうなので、睡眠時間を少しでも多く確保するために、小秀山 より手前の糸瀬山に先に登ることにした。

糸瀬山登山口を 6:50 出発。檜の森の中、可愛い小鳥たちの鳴き声を聞きながら歩き始める。まもなく胸突き八丁の急な登りがしばらく続いた。急登が終わると「丸屋の鳥屋」と書いてあるブリキの案内板があった。ネットの記録によると、鳥屋とは、昔、カスミ網猟で野鳥を食用に捕獲していて、その基地であった所との事である。(今では禁止されている) さらに歩を進め、「まむし坂」の急坂を過ぎ、崩落地、青ナギに着く。

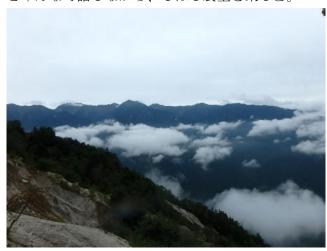


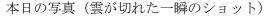
糸瀬山の登山口



青ナギ付近を登る

今までずっと樹林帯の中を歩き、展望はなかったが、ここから中央アルプスが良く見えるとのこと、期待していたが、登りの時はガスっていて見えなかった。が、下りの時、少し待っていると、ガスが切れ、中央アルプスの山波が綺麗に見え嬉しかった。「あれが空木岳だね」「あれは仙涯嶺だね、南駒ヶ岳だね」等とみんなで話しながら、しばし展望を楽しむ。







晴れた日の写真(ネットから拝借したもの) 左空木岳、中央南駒ヶ岳、中央右仙涯嶺、一番右越百山

山頂は大きな岩の上の中央に赤い二等三角点が埋め込まれていた。それにタッチして記念写真を撮る。 針葉樹に囲まれ、展望はなし。山頂から北に 50mほどの所に巨大な「のろし岩」があった。高さは 10m 位か、長さ 5m位のアルミ製の梯子、その上は鎖の梯子がかけてあった。アルミ製の梯子も、鎖も古そう だし、途中まで登ってみたが、怖いし、危険なので、それ以上は登るのをやめた。 往路を辿り、登山口に 13:05 着。





樹林の中の糸瀬山の山頂

ちょっと先に行ったところにある「のろし岩」

日帰り温泉「フォレスパ木曽」で汗を流す。汗を流している間、ざあざあ降りの雨。ハイキング中に 雨が降らなくて良かった。

道の駅 加子母の近隣の「ふれあいの館」の軒下に、テントを張らせてもらう。山の話に花を咲かせながら飲み、夕べ、睡眠時間が短かったこともあり、20時には明日の好天を祈りながら眠りに就いた。

記録担当:鈴木 愛子

○9/25(日)小秀山(1982m)

道の駅加子母「ふれあいの館」(岐阜県中津川市)の軒先を拝借し、快適な一夜を過ごした。翌日は晴れの 予報、日本百名山で御嶽山の南西に聳える小秀山(200名山)を目指した。

乙女渓谷キャンプ場は暗闇の中だったが、夜明け頃出発。二の谷ルートは渓谷沿いに滝を掛け木製の遊歩道が完備し、滝や淵を鑑賞できるようになっている。この遊歩道の橋が、濡れてコケが付着し滑る、滑る!周囲が明るくなると滑り止めが付いているのに気付き、ようやく本調子で歩き出す。避難小屋で小休止、さらに落差 80m の男滝から木道もなくなり登山道らしくなってきた。



すべりまくりの怖い木道



落差80mの男滝は弩迫力

男滝の落ち口からさらに子滝の前を飛び石で通過。この二の谷と右隣の沢の間の尾根を少し進み、孫滝(最終水場)を過ぎると道は沢から離れ大岩の急斜面に取り付く。カモシカ渡りという岩と太い根が入り組んだ岩場があるが難しくない。下山路の三の谷ルートと合流すると兜岩の展望台があるが先を急ぐので立ち寄らず。第1高原から平原状になり、南西方向が見渡せる。第3高原から前方のピークに避難小屋が見え、すぐ奥が小秀山山頂である。山頂には数人の登山者が居り、東方向の車道からルートがあり2~3時間で山頂に到着できるとのこと。残念ながら北に雲がかかり御嶽山は見えない。



沢沿いの登山道は一部沢登り状態



尾根に出ると奥美濃の山々が見えてくる



かもしか渡りの岩場を登る



兜岩(左から巻き)



小秀山の山頂(背後の御岳山は雲のなか)



お隣の白草山から白山方面を望む

下山は木の香りのする立派な避難小屋(バイオトイレ付)に立ち寄り、分岐まで往路を下山、三の谷ルートは谷でなく尾根の斜面をジグザグに下るコースで飽きがきた頃、林道に辿り着きキャンプ場脇の駐車場に戻った。知峡倉屋温泉おんぽいの湯で入浴し、道の駅花街道付知にて夕食後帰葉した。

記録担当:加藤 洋子

○糸瀬山、小秀山山行を終えて (鈴木愛子)

糸瀬山の青ナギで見た中央アルプスの山波が綺麗で、空木岳は登ったことがあるが、南駒ヶ岳、仙涯 嶺、南駒ケ岳、越百山は登ったことがないので、いつか登りたいと思った。

糸瀬山は、途中途中の案内板が、どれもブリキに小さい穴を開け、それをつないで文字にしてあり、手作り感が良かった。

小秀山は最初1時間半位は沢に沿って歩き、木道が濡れていて歩きづらいことがあったけど、色々な滝を見られたり、岩場があり、よじ登る事が面白かったり、変化に富んでいて良かった。頂上から御嶽山がガスで見えなかったのは残念であった。

木曽谷周辺の山は初めてでしたが、楽しい山行でした。柘植さん、加藤さん、お世話になり有難うございました。